

【平成20年3月期決算記者会見資料】

①契約の状況等

		07年3月期	07年9月期	08年3月期
新契約年換算保険料	(百万円)	22,991 (76.4%増)	8,744(39.8%増)	12,739(44.6%減)
うち第三分野	(百万円)	0(100.0%減)	—(100.0%減)	—(100.0%減)
保有契約年換算保険料	(百万円)	92,085(24.2%増)	98,287(26.0%増)	99,358(7.9%増)
うち第三分野	(百万円)	6,741(12.6%減)	6,394(10.8%減)	6,115(9.3%減)
保険料等収入	(百万円)	240,759(15.7%増)	88,081(2.9%増)	134,097(44.3%減)
うち個人保険分野	(百万円)	227,849(17.2%増)	83,079(3.3%増)	125,960(44.7%減)
うち団体保険分野	(百万円)	7,262(18.9%減)	2,790(26.9%減)	4,900(32.5%減)
新契約高	(百万円)	179,576(10.3%増)	63,901(18.2%増)	93,388(48.0%減)
保有契約高	(百万円)	2,523,343(5.3%減)	2,445,503(3.3%減)	2,261,006(10.4%減)
解約・失効高	(百万円)	242,766(42.0%減)	89,266(35.7%減)	165,582(31.8%減)
解約・失効率	(%)	9.11(5.26ポイント低下)	3.54(1.67ポイント低下)	6.56(2.55ポイント低下)

* 保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険
* 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出
* 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料
* 年換算保険料の対象は個人保険と個人年金。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。
*()内は前年同期比増減率
* 保険料等収入は損益計算書ベース

②資産の状況等

		07年3月末	07年9月末	08年3月末
総資産	(百万円)	1,078,447(15.4%増)	1,113,677(16.4%増)	1,048,962(2.7%減)
実質純資産額	(百万円)	63,511(1.6%減)	64,119(1.2%増)	63,798(0.5%増)
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	13.7(0.7%増)	14.2(5.2%増)	13.9(1.5%増)
ソルベンシー・マージン比率	(%)	1,203.7(744.0ポイント低下)	1,091.7(492.2ポイント低下)	920.7(283.0ポイント低下)

*()内は前年同期比増減率

③基礎利益・逆ざや・利回り等

		07年3月期	08年3月期	09年3月期予想
基礎利益	(百万円)	△6,457(—)	△18,183(—)	△4,000

*()内は前年同期比増減率

		07年3月期	08年3月期	09年3月期予想
逆ざや額	(百万円)	4,117(189減)	4,103(14減)	4,000

*()内は前年同期比増減実額

		07年3月期	08年3月期	09年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り	%	1.13	1.04	1.0強
運用利回り(一般勘定)	%	0.22(0.98)	4.34(0.96)	0.4弱(0.9弱)
平均予定利率	%	2.17	2.08	2.0弱

* 運用利回りについては、金銭の信託運用損益(変額個人年金リスクヘッジ)を除いた数値を括弧内に記載しております。

④準備金

		07年3月末	07年9月末	08年3月末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	1,011,557(149,730増)	1,051,732(164,217増)	990,560(20,997減)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	396,678(8,424減)	391,665(8,102減)	401,133(4,454増)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	614,879(158,154増)	660,066(172,319増)	589,427(25,451減)
価格変動準備金	(百万円)	393(29増)	404(19増)	414(21増)
危険準備金	(百万円)	9,311(4,177増)	12,111(5,615増)	13,587(4,275増)
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	4,571(1,582増)	4,981(1,672増)	4,551(19減)
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	—(—)	—(—)	—(—)
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	4,740(2,595増)	6,768(3,581増)	8,626(3,885増)
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	—(—)	361(361増)	409(409増)
危険準備積立金	(百万円)	—(—)	—(—)	—(—)
価格変動積立金	(百万円)	—(—)	—(—)	—(—)

* 危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載。
*()内は前年同期比増減実額

含み損益

		07年3月末	07年9月末	08年3月末
有価証券	(百万円)	727 (633増)	919 (275減)	1,470 (2,198増)
うち国内株式	(百万円)	- (265減)	- (192減)	- (-)
うち国内債券	(百万円)	1,047 (1,646増)	1,001 (209増)	1,549 (2,596増)
うち外国証券	(百万円)	84 (31増)	11 (1減)	4 (89減)
不動産	(百万円)	- (-)	- (-)	- (-)

* 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とする。再評価前・後のいずれの水準かは注記のこと

* ()内は前年同期比増減実額

運用実績と計画

		07年度実績	08年度計画
国内株式	(百万円)	68増	-
国内債券	(百万円)	5,475増	横ばい
外国株等	(百万円)	7,018減	-
外国債券	(百万円)	15,592減	-
不動産	(百万円)	7増	-

資産の含み損益がゼロになる水準(08年3月末時点)

		08年3月末
日経平均株価	(円)	-
TOPIX	(ポイント)	-
国内債券	(%)	1.5
外国証券	(円)	107

* 株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

* 国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第一位まで算出

* 外国証券はドル円換算にて算出

09年3月期の業績見通し

		09年3月期予想
保険料等収入	(百万円)	250,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	130,000
保有契約高	(百万円)	2,320,000

銀行との資本持ち合いについて

銀行からの拠出

		総額
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

* 銀行からの拠出の劣後ローン等は、劣後ローン及び劣後債

* 銀行からの拠出の株式は3月末の時価

銀行への拠出

		総額
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	11,996

* 基金拠出者以外の金額も含む

* 銀行への拠出の保有している株式には、優先株を含む。(各行・グループの海外現法への出資は除く)

* 銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券

職員数

		07年3月末	07年9月末	08年3月末
営業職員	(人)	- (100.0%減)	- (-)	- (-)
内勤職員	(人)	320(7.7%増)	328(5.5%増)	339(5.9%増)

* ()内は前年同期比増減率

配当の状況(08年3月期決算に基づく08年度配当所要額)

		08年3月期決算に基づく08年度配当所要額
個人保険	(百万円)	- (100.0%減)
個人年金	(百万円)	- (100.0%減)
団体保険	(百万円)	232(70.8%減)
団体年金	(百万円)	23(16.4%減)

* ()内は前年同期比増減率

銀行窓販の状況

			07年3月期	08年3月期	窓販開始以来実績 02年10月～08年3月
変額年金保険	新契約件数	(件)	19,010(6.5%増)	10,840(43.0%減)	47,679
	金額(収入保険料)	(百万円)	147,187(27.6%増)	81,281(44.8%減)	531,162
定額年金保険	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)	-
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)	-

* ()内は前年同期比増減率

			07年3月期	08年3月期	窓販開始以来実績 05年12月～08年3月
一時払終身	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)	-
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)	-
一時払養老	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)	-
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)	-

< 全面解禁商品 >	窓販開始以来実績 07年12月～08年3月
------------	--------------------------

* 全面解禁商品の取り扱いはありません。

保険金・給付金等の追加支払いについて

		07年3月期	08年3月期
支払い調査に要した金額	(億円)	0.2	3.5
うち人件費	(億円)	0.1	1.7
うち物件費	(億円)	0.1	1.8

		07年3月期	08年3月期
保険金・給付金等の追加支払い済金額	(億円)	0.3	6.3

* 上記金額については、それぞれ単年度の支払済み金額を記載しております。

「不払い問題」に対する主な再発防止策

請求を頂戴して保険金・給付金をお支払いするのではなく、お支払いできるものはすべてお支払いするとの意識にもとづき、保険金等支払管理態勢を強化しております。

支払管理部門の態勢整備

- ・専担の部長を配し「支払サービス部」を設置
- ・査定担当者を含めた要員体制の強化
- ・システム整備を含めた支払業務プロセスにおけるチェック機能の強化
- ・支払査定基準など「規程」「事務マニュアル」等の整備
- ・査定担当者を始めとする支払管理部門要員の教育訓練の強化
- ・支払業務プロセスにおいて発生した諸課題の経営陣への報告と速やかな解決体制の確立
- ・「支払査定審査会」を活用した適時・適切な支払体制の強化

支払監理部の新設による支払監理態勢の強化

- ・個人保険発生型のお支払い実施前、及びお支払い非該当の再査定
- ・すべてのお支払い及びお支払い非該当事案について事後検証の実施
- ・支払査定基準など「規程」「事務マニュアル」等の整備状況の検証
- ・お支払い、お支払い非該当状況及び支払業務に関する諸課題の定期的な経営陣への報告

お客さまの視点に立った業務運営の拡充

- ・お客さまへの請求ご案内通知の発信とわかりやすいお支払い手続きのホームページを通じた開示
- ・お客さまにわかりやすい各種請求書、及び医療機関が記入し易い診断書への改訂
- ・社外委員として弁護士、消費生活コンサルタント及びマスコミ関係者をメンバーとした「支払監理委員会」を設置し、保険金等のお支払い、お支払い非該当状況の確認、及びお支払いに関する苦情の分析と改善策の提言